

## 1-2 追悼行事関連文化復興事業補助

### (1) 趣旨

目的：阪神・淡路大震災を記憶にとどめ、犠牲者に追悼の意を表するとともに、被災者の心を慰めるために行われる文化事業開催に対して補助を行い、被災地の文化の復興を図る。

事業年度：平成7年度



### (2) 内容

#### ■補助対象者

県・市町・各種団体等で構成する追悼関連文化事業の実行委員会

#### ■補助対象事業

公共団体が実施する追悼行事に関連して実施されるメモリアルコンサート等文化復興事業

#### ■補助対象経費

出演料、舞台設営費、音響・照明費、会場・付属施設使用料、企画構成費、広報・記録費等、事業実施に要する経費

#### ■補助率：1/2（補助限度額：全県的事業3,000万円、その他1,500万円）

### (3) 実績と成果

平成7年度 5件 38,022千円

## 1-3 震災の経験・教訓継承事業

### 震災の教訓を語り継ぎ、生かす兵庫の防災教育推進事業

#### (1) 趣旨

目的：阪神・淡路大震災に対応した教育復興担当教員及び心の教育担当教員の成果やノウハウを生かした災害時等における「児童生徒の心のケアに係る研修プログラム」を策定し、教員研修を実施するとともに、防災教育副読本を作成・配布、活用する事業に要する経費を補助することにより、兵庫の防災教育の更なる推進を図る。

事業年度：平成22年度～25年度

#### (2) 内容

##### ■補助対象者

防災教育開発機構

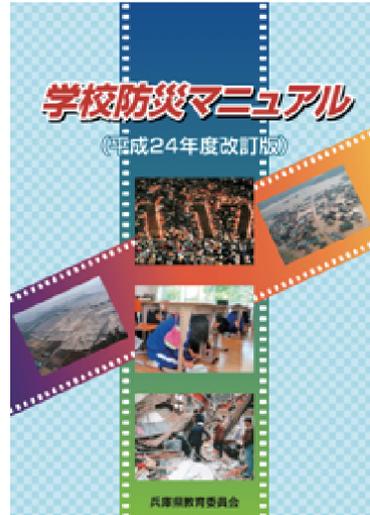
##### ■補助対象事業の内容

- ① 災害時等の「児童生徒の心のケアに係る研修プログラム」の策定（平成22年度）
- ② 「研修プログラム」を活用した心のケア担当教員研修の実施（平成23年度～25年度）
- ③ 防災教育副読本の作成及び実践発表等の実施

■補助対象経費

謝金、旅費、需用費、役務費、使用料、賃借利用費、消耗品費等、事業実施に必要な経費

■補助率10/10



(3) 実績と成果

年度	件数	金額（千円）	年度	件数	金額（千円）
22	1	5,185	24	1	17,154
23	1	28,291	25	1	188
		計			50,818

震災の経験・教訓発信事業

(1) 趣旨

目的：被災地として経験と教訓の発信や減災対策等の取組みが求められていることから、被災市内を拠点とする団体等が実施する阪神・淡路大震災の経験や教訓の発信を目的とした事業の実施に対して補助することにより、震災の経験と教訓を広く伝えることを図る。

事業年度：平成22年度～27年度

(2) 内容

■補助対象者

阪神・淡路大震災により災害救助法の適用を受けた被災市内を拠点とする兵庫県内の各種機関及び団体

■事業の内容

①助成事業

震災の経験と教訓を発信する重要な事業または、復興を象徴するイベントに対する補助

- ・山手幹線全線開通記念ウォーク、イザ！カエルワールドの開催に係る補助（平成22年度）
- ・神戸マラソンの開催に係る補助（平成23年度～26年度）



## 事業実績（⑥その他・自主事業）

・県内避難者相談・交流等支援事業への補助（平成25年度～27年度）等

### ②主催事業

助成事業の広報等の附帯事業及び震災の経験と教訓を発信する事業の実施

#### ■補助対象経費

謝金、交通費、印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、保険料、委託料、使用料、補助金等

#### ■補助率

10/10

### (3) 実績と成果

年度	件数	金額（千円）	年度	件数	金額（千円）	年度	件数	金額（千円）	
22	1	10,000	24	2	51,755	26	2	51,447	
23	1	50,000	25	2	51,205	27	1	1,035	
							計	9	215,442

## 東日本大震災に係るひょうごまちづくり専門家派遣事業

### (1) 趣旨

目的：東日本大震災の被災地における住民主体の復興まちづくりを支援するため、阪神・淡路大震災で復興まちづくりを経験した専門家を被災地に派遣し、復興まちづくりの経験・教訓を伝えるとともに、専門家と被災地住民等との交流を通じ、復興まちづくりのネットワーク作りとまち作り活動組織等の設置を促進する事業に対して補助し、震災の経験と教訓を伝えることを図る。

事業年度：平成23年度～27年度

### (2) 内容

#### ■補助対象者

（公財）兵庫県まちづくり技術センター

#### ■事業の内容

- ① 東日本大震災ひょうごまちづくり専門家バンク設置・登録事業（平成23年度～27年度）  
阪神・淡路大震災における復興まちづくりの経験又は教訓に関する知識を有する専門家との協力体制を整え、当該専門家の情報を登録する事業
- ② ひょうごまちづくりコンサルチーム派遣（平成23年度～26年度）  
阪神・淡路大震災における復興まちづくりの経験又は教訓を伝え、住民主体のまちづくりに向けた機運を醸成するために専門家等で構成されたコンサルチームを派遣し、被災地の住民団体等とひょうごまちづくり専門家等との交流を促進する事業
- ③ ひょうごまちづくりアドバイザー派遣事業（平成23年度～27年度）  
ひょうごまちづくりコンサルチーム派遣事業等により培われた被災地の住民団体等とひょうごまちづくり専門家とのネットワークを活かし、まちづくり協議会の設置等のまちづくり活動の初動期を支援するため、ひょうごまちづくり専門家をアドバイザーとして派遣する事業

#### ■補助対象経費

謝金、旅費、印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、保険料、委託料、使用料、賃金等

■補助率

10/10以内



〈気仙沼市鹿折地区〉  
〈地区住民、支援団体との意見交換〉



〈石巻市雄勝立浜地区〉  
〈防災集団移転関連課題項目検討〉

(3) 実績と成果

年度	コンサルチーム 派遣数	アドバイザー 派遣地区数	アドバイザー 派遣回数	金額(千円)	年度	コンサルチーム 派遣数	アドバイザー 派遣地区数	アドバイザー 派遣回数	金額(千円)
23	11	3	13	9,549	26	3	3	23	9,953
24	20	9	45	20,841	27	0	3	29	7,483
25	0	5	40	10,829					
					計	34	23	150	58,655

復興サポート事業

(1) 趣旨

目 的：阪神・淡路大震災の際に住民主体のまちづくり、仮設住宅・恒久住宅移行後のコミュニティの再生等あらゆる被災地の課題に対して、実践経験等があり支援活動ができる団体等を、復興サポーターとして東日本大震災被災地等へ派遣することにより被災地の復興に寄与する事業に対して補助し、阪神・淡路大震災の経験と教訓を伝えることを図る。

事業年度：平成25年度～令和2年度

(2) 内容

■補助対象者

県・市町生活支援協議会

■補助対象事業

県内に主な活動拠点を有し、阪神・淡路大震災等の自然災害において活動実績のある団体等が東日本大震災等被災地で実施する以下の事業に対する助成

- ・高齢者の見守り活動
- ・被災児童等のこころのケアにつながる活動
- ・住民主体のまちづくり 等

※東日本大震災分：平成25年度～令和2年度

平成28年度熊本地震分：平成28年度～29年度

平成30年7月豪雨災害（岡山県）分：平成30年度～令和元年度

■補助対象経費

- ・助成金（旅費、通信運搬費、使用料、賃借料等）
- ・事務局事務費

■補助率

10/10

(3) 実績と成果

年度	件数	金額（千円）	年度	件数	金額（千円）	年度	件数	金額（千円）	
25	15	4,836	28	73	32,728	R元	37	14,690	
26	47	23,655	29	51	21,303	R2	7	4,381	
27	49	24,839	30	37	16,173				
							計	316	142,605

自主防災組織活性化支援事業

(1) 趣旨

目的：今後発生する災害に対応していくため、自主防災組織における防災リーダーの育成や効果的・継続的な訓練の実施、地域コミュニティにおける防災意識の醸成など、地域防災力の更なる向上を図っていくことを目的とし、自主防災組織による特色ある防災訓練等の実施や訓練に必要な防災資機材の整備・充実に係る経費を補助する。

事業年度：平成25年度～30年度

(2) 内容

■補助対象者

団体規約等を有し、事業責任者、会計責任者等を明確にしている兵庫県内の自主防災組織

■補助対象事業

特色ある訓練や先駆的な活動及び訓練に使用する防災資機材の整備・充実を支援する。

・特色ある防災訓練等

津波被害等を想定した図上訓練や避難訓練、要援護者避難訓練、消防団や学校等と連携した合同実施での防災訓練、防災スポーツ大会や防災キャンプ等の地域行事と一体となった防災活動など、地域の特性を踏まえた特色ある活動や他の地域では行われていない先駆的な活動

・防災訓練・活動に必要な防災資機材の整備

携帯用無線機、可搬式動力ポンプ、車椅子、発電機等の防災訓練・活動に必要とされる防災資機材の購入



■補助対象経費

防災訓練等に要する経費及び防災訓練等に必要とされる防災資機材の新規購入・更新経費（謝金、交通費、印刷製本費、通信運搬費、消耗品費、備品購入費、保険料、委託料、使用料）

■補助金額

補助限度額：1団体あたり30万円

（資機材の購入・更新に対する助成額：助成申請額の1/2以内。限度額15万円。）

## ■補助率

10/10以内

## (3) 実績と成果

年度	件数	金額（千円）	年度	件数	金額（千円）	年度	件数	金額（千円）	
25	68	16,716	27	56	13,779	29	56	13,528	
26	87	21,579	28	52	14,011	30	56	13,956	
							計	375	93,569

## I-3 阪神・淡路大震災復興支援館「フェニックスプラザ」設置・運営事業

## (1) 趣旨

目的：震災からの本格的な復興に向けて、住まいや生活などの復興に欠かせない情報の提供や、被災者支援活動を進める人々の交流や学習、復旧から復興への歩みや復興プロジェクトの展示などにより、広く被災地内外の人たちが復興に向け心をひとつにし、被災者の自立的な復興を支援する拠点として「フェニックスプラザ」を開設。

事業年度：平成8年度～14年度

設置場所：神戸市中央区三宮町1丁目

## (2) 内容

p.209参照

## (3) 実績と成果

年度	金額（千円）	年度	金額（千円）	年度	金額（千円）	
8	79,918	11	130,883	14	12,333	
9	145,100	12	102,768			
10	129,516	13	87,404			
					計	687,922

## I-4 震災復興広報強化事業

## (1) 趣旨

目的：すべての人々が知識や技術、経験などを寄せ合い助け合う“協力復興”の機運を醸成するとともに、国内外からの創造的復興への参画を促進するため、本格的な復興状況等を新聞・テレビ番組等により総合的・一体的に広報する。

事業年度：平成8年度～17年度

事業実績（⑥その他・自主事業）

(2) 内容

項目	内容	事業年度
テレビ番組の提供	サンテレビ、CATVにおいて復興情報を発信する定例番組「フェニックス兵庫」を放送	平成9年度～16年度
新聞紙面購入	全国紙、神戸新聞の県域版の紙面を購入し、復興関連情報を掲載	平成9年度～17年度
ビデオの作成	復興の歩みを被災地はじめ国内外に広く周知するため、ビデオ「創造的復興の歩み」を作成・配布	平成8年度～16年度
広報冊子の作成	震災からの復興の過程や復興計画・事業等を紹介する冊子「フェニックス兵庫」を作成・配布	平成9年度～16年度
展示パネルの作成	震災からの復興の過程や復興計画・事業等を紹介する貸出展示パネルを作成	平成9年度～16年度
調査研究	震災10周年を機に、21世紀文明の創造に寄与する調査研究を行うとともに、記録誌を作成	平成16年度～17年度

(3) 実績と成果

年度	件数	金額（千円）	年度	件数	金額（千円）	年度	件数	金額（千円）
8	—	19,956	12	—	98,062	16	—	133,839
9	—	175,867	13	—	84,305	17	—	119,435
10	—	122,583	14	—	91,446			
11	—	102,383	15	—	59,642			
						計	—	1,007,518